

## 第64回静岡県学校保健研究大会 アンケートまとめ

### 実践発表について

満足した 137      まあまあ満足した 26      満足しなかった 0

- 実践的な内容を具体的に紹介していただき、自校でも実践してみたいと感じた。
- 連携をキーワードに健康教育を推進された様子や、学区での連携が効果的に発展していることもよく分かった。
- 健康課題の解決のために、様々な職種が連携し合って、組織的に実践を重ねているのが素晴らしい取組であると感じた。
- それぞれの地区の現状を踏まえた、保護者や地域、関係機関等との連携に、小笠地区の地域の温かみを感じた。
- 小中連携をする中で、共通の目標に向かい、実践し、学校全体で取り組んでいることがすばらしいと感じた。外部機関との連携が密に取れていると感じた。
- 小笠地区は中学校区で研修がなされていて、養護教諭が異動しても、継続してその地区の実態に合った健康教育が続けられることがいいと思った。
- 地区でひとつのことを研究するのではなく、子供の実態に合わせて学舎・学園ごとに目標を定め、研究していて良いと感じた。特に、姿勢ピントタイムや目の体操の実践は本校でも実践してみたいと感じた。
- 切れ目のない健康教育を目標に、各関係機関と綿密に連携を取りながら進めている様子に感銘を受けた。小中連携が特に活発で、取り組みの前後で子供の変容も見られており、効果が伺えた。
- 今日の実践発表から原点の「楽しく学べる保健」を思い出した。自校で実践していきたいと思った。
- 『連携』の視点で様々な実践がまとめられており、自校でも取り入れたい内容が多くあった。特に、中学校区の連携、地域医療との連携が進んでいて、切れ目のない健康教育の実現に繋がっているのだなと思った。学校保健会の取組も充実しており、県内に広まるといいと感じた。
- 睡眠と朝食の関係や視力低下の予防について、楽しく子どもの心に残るような実践が大変勉強なり、自校でもお手本にして取り組んでいきたいと感じた。
- 中学校区で研究テーマを設定し、共通して取り組むことで効果を感じられる実践から、一人一人の子供の成長の過程に連続して関わることの意義を改めて実感した。全ての校区で取り組んでいることに感心した。
- 中学校区で切れ目のない健康教育をされていて、とても参考になった。小学校、中学校の単位で、それぞれで健康教育をすすめるより9年間を見通した実践を進めることで、より子どもの実態に合ったものとなり、内容も深まっていく良さを感じた。
- 養護教諭だけでなく、保護者も含め、さまざまな機関の方と協力し、健康教育を行っていて、必ずその後に保健だよりなどで報告したり、掲示物を作り、その授業だけで終わっていないところが勉強になった。

## 記念講演について

満足した 156

まあまあ満足した 9

満足しなかった 0

- 養護教諭の専門性とは何なのかを考える良い機会になった。時々、養護教諭の存在、役割ってなんだろうと思うことがあったため、お話を聞いて整理ができた。
- 保健教育は、ただ正しい知識を与えようとしただけでは伝わらないので、子どもの心に残るように、「おもしろさ」が大事だということがわかった。
- 養護教諭の専門性は、見えないけれど大切な働きかけであることを、笑いのあるお話の中で学ぶことができた。
- 面白くわかりやすい保健教育がどれほど子供たちの行動変容を促すのか、講演を聞いていて、やってみたい！と思えたので、自分も実践できるように更なる自己研鑽をしたいと思った。
- 高橋先生のお話を聞き、記憶に残す工夫、行動変容を目指すための工夫等のヒントをたくさんいただき、今後の保健教育に活かしていきたいと思った。
- 「健康上の問題を抱えていない生徒に、実感させるのは難しい」というお話、納得だった。伝えたいこと、しっかり学んで卒業して欲しいという思いは色々あるが、生徒の立場になって授業構成をしたいと思った。
- 多様性を認め、温かく見守る時や子どもたちが自分で心身を守るために分かりやすく伝える指導力を磨き、実践の機会を増やしていきたいと思った。
- 保健教育をするときに子供たちの興味を引く導入に苦戦していたが、高橋先生のような子供の心をひきつけるような導入を、今回の講演を参考にして考えていきたい。
- 養護教諭、保健教育という枠を超えて、教員の専門性を考え、全ての教育に通じるヒントがたくさんあった。
- 指導者の満足度ではなく、児童生徒の心に一粒でも種をまけるような楽しい指導をしていきたいと思った。
- 行動選択や、その継続への難度は保健教育を行う上で課題に感じるころだったが、そこへのアプローチを具体的に聞くことができ、少し糸口が見えたような気がした。

## 大会運営について

- 駐車場が広くてありがたかった。
- 遠方のため、公共交通機関を利用したが、最寄りバス停から会場までが遠く、アクセスが大変だった。
- 施設が綺麗で、スライドも見やすかった。
- 特に混乱もなく、スムーズな運営だった。
- 遠方からの移動時間や、感染症が流行する時期であること等を考慮すると、参集とオンラインのハイブリット形式が良いと思った。
- 今回行けなかった方にも聞いて欲しい内容が多かったなので、オンライン形式にして、オンデマンドにより後からゆっくり見られるようにして欲しいと思った。